

(様式 1-3)

山武市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 25 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	4	事業名	津波避難階段付帯設備整備事業		事業番号	◆A-2-1-1
交付団体	山武市		事業実施主体 (直接/間接)		山武市 (直接)	
総交付対象事業費	1,680 (千円)		全体事業費		1,680 (千円)	
事業概要						
津波避難階段を有効に活用するために必要な整備を行い、津波からの緊急避難体制を強化することにより近隣住民の安全確保を図る。						
○蓮沼中学校 県道 5 8 号線沿いに避難誘導看板を設置する。 ・大型標識 F 型 (高さ 5.5m 幅 2.5m)						
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください						
当面の事業概要						
○津波避難階段付帯設備整備事業 : 1,680 千円						
<平成 25 年度> 蓮沼中学校避難誘導看板設置工事 1,680 千円						
東日本大震災の被害との関係						
海岸線から直線距離で約 8km に渡って平野部が広がる本市では、今回の東日本大震災において多くの津波被害が発生した。発災直後の大津波警報発令により市長が避難指示を発令。海岸地域の 11 箇所の避難所には 2,000 人を超える市民が避難した。 特に蓮沼中学校は海岸からの距離が 1.5 km に位置し、海岸部における防災拠点として位置づけられているため、100 名 (隣接の蓮沼スポーツプラザ (2F 建) には、800 名) が避難した。 このことから蓮沼中学校 (RC 造 3 F 建) に設置する外階段を有効に活用し、津波からの緊急避難体制の強化を図る。						
※区域の被害状況の概要						
●建物被害棟数が 1,201 棟 (全壊 48 棟、大規模半壊 182 棟、半壊 377 棟、床下浸水 275 棟、その他 319 棟) ●浸水面積 9.4k m <sup>2</sup> (千葉県内で最大規模)、最大陸地到達距離は 2,960m (松尾町折戸地先) ●震災当時の避難所は 13 箇所を開設、累計避難者数 3,995 人 (内福祉避難所 246 人) 最大避難者数 2,149 人 (3 月 11 日 20:00 現在) ●市が実施した被災者アンケートでは、災害時に特に危険と思われることとして「海岸線の後背地が平坦であること」607 人 (65.3%)、「安全な避難場所が少ないこと」287 人 (30.9%) という結果が出ている。						
関連する災害復旧事業の概要						
○道路橋りょう災害復旧事業 被害を受けた道路・排水路の復旧を行い、避難道路としての役割を果たせるよう整備を推進する。 ○木戸川堤防復旧復興事業 津波により被災した木戸川堤防について、質的改良を伴う災害復旧工事を実施する。						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	A-2-1
事業名	小中学校避難用外階段設置事業
交付団体	山武市
基幹事業との関連性	
<p>○蓮沼中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業で設置した外階段について、緊急時はより多くの避難者に設置場所を示すことが肝要であるため、近くを走る大通り（県道58号線）沿いに避難誘導看板を設置することにより円滑な避難誘導を促す。</li> </ul>	